
365日ストーリーカー日記

がじゅまる@KDN

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

365日ストーリー日記

【Nコード】

N8401T

【作者名】

がじゅまる@KDN

【あらすじ】

彼を愛し、愛しすぎてついにはストーリーカー行為にまで至っちゃった！??女子高生のいきすぎた恋愛行動!!!!

私は純粹に彼を愛してるだけで別にストーカーじゃない。

彼が帰宅途中後ろから付いていくのにはちゃんと理由があるのよ！彼はとてもドジっ子ですぐこけたりするの、変な人に付いていつちやうの。だからいざって時に私がいれば彼を助けてあげられるでしょ？

彼のゴミを確認するのだって大切な事なんだから、彼って一人暮らしなのよ。運動部で部活動が終わって家に帰るのはいつだって8時過ぎ。ゴミを見てみるとコンビニで買ったようなお弁当ものばかりあるの。彼の食生活が気になるのよ、体は大事しないといけないのに！

ストローとかお箸とかティッシュとかは家に持ち帰るの。何でかって？好きだからに決まってるじゃない！！それ以外の理由があるかしら？？ん？なに？あきらかにストーカーじゃないかって？？馬鹿言ってるんじゃないわよ！！私は絶対にストーカーなんかじゃないわ！彼の事を心から愛してるだけよ！！

彼と出会ったのは高校の入学式の時、その頃はなにも想ってなかったわ。ただのクラスメイトって感じね。普通だもの彼。名前？ああ、ごめんさい。まだ彼の名前言ってなかったわね。

橋場稔って名前なの。可愛い名前でしょ。は・し・ば・み・の・るよ！ちゃんと覚えてよね！野球部に所属しててキャッチャーなの。試合の応援には必ず行ってるわ。マネージャーにもなりたかったけど二人まででもう先約がいたのよね。マネージャーになれてたら稔君の使用済みタオルが手に入ったのに・・・。本当残念だわ。

そんな事はいいから出会った時の事を教える？せつかちな人ね。
・
・まあいいわ。ちょっとやさそつとで彼の魅力を言える訳ないもの。

稔君とは入学式が終わった後に出会ったの。中学が一緒だった友達と正門で待ち合わせしてたの。急いでたから走ってたのよ。角を曲がった時・・・誰かにぶつかって思いっきり後ろへ倒れちゃったの。いたたたつ・・・てなつて相手に文句言つてやるうつて思つて目を開けた瞬間・・・彼が・・・稔君がいたの・・・桜がとっても綺麗な日だね、風のおかげで桜吹雪まで吹いてたの。稔君も後ろへ突き飛ばされちゃつたみたいで私と同じように尻餅をついていたわ。判るぐらいびっくりした顔しててね、大きな瞳を見開いて私をじつと見たわ。私も彼を見つめたわ。数秒間そのまま時間が過ぎて・・・はつとして彼は起き上がつて私に手を差し伸べたわ。

「ごめんっ！・・・大丈夫か・・・？」

桜の花びらが彼の体にいっぱいはりついて・・・彼も頬を桜色に染めて・・・とても綺麗だったわ。

「怪我はないか？・・・本当にごめんっ！・・・俺見えてなくつて・・・」
真剣に謝罪する彼を見て、なんて誠実な人なんだろうつて思ったの。その日から彼を見ると胸がドキドキして、苦しくなつて、彼のしぐさにいちいち反応しちゃつて・・・ああ、私彼が好きなんだなあ。つて気付いちやつたの。

確信しちやつたら私行動早いよ。すぐさま彼に関する事を調べたわ。好きな食べ物嫌いな食べ物。部活、嫌いな教科好きな教科。なんでも調べたわ。稔君専門の情報屋のようなものね。

「ただど・・・それだけじゃ足りなくなつちやつたの・・・」

学校だけの稔君だけじゃ足りない。もっと知りたい。もっと彼の事を知りたい。どんな生活をしているのか。どんな風に風呂に入るのか。・・・知りたい。

そして私は彼を観察する事にしたの。んで今に至るわけよ。観察する度に稔君の魅力はどんどん強くなつていったわ。飽きないか？つてそんなとんでもないww飽きないわよ。だって彼の全てを知るまで飽きない自身があるわ。いや、全てを知つても飽きないわ。

・・・だつて彼を心のそこから愛してるんだもの。

7月 日(月)

一週間の始め、もう初夏ね。風がふいて気持ちい季節になってきたわ。寒くもなく、良い気温。運動するにはもってこいの季節よね。稔君もきつと今日の部活は気持ちいいに決まってるわ。

AM6:00

稔君は朝練がある日はいつもこの時間帯にマンションを出るの。私？もちろん待機してるわよ。朝早いからって彼に危険がおよばないとは限らないわ。逆に明るいから稔君も油断してる。朝も夜も私が稔君を守ってあげなくちゃね。ほら、出てきた。ジャージ姿の稔君。中に野球のユニフォームを着てるのよ。大きなスポーツバッグ。重そう。できることなら私が持つてあげたいわ。

登校途中、犬の散歩してるおじさんに出会ったわ。稔君、おじさんとさわやかに挨拶してる。やっぱり素敵だわ、彼って。

AM6:14

商店街を抜ける稔君、開店準備をしてる八百屋のおじさんと話しだしちゃった。もう、野球の練習があるのに。まあ可愛いからいいんですけどっ。

あら、ふふ。何笑ってるんだ？って？だつて可愛らしいんだもの。稔君、八百屋のおじさんに赤い赤い林檎を貰ったみたい。稔君の綺麗な頬もその林檎みたいに真っ赤なんだもの。これを可愛いと言わずしてどんな言葉に置き換えれるというのよ！！！！

AM6:32

やっと学校に到着だわ。歩いて30分つてところね。自転車で通ったほうが早いとは思っただけど私的には今のままでOKよ。だつて自転車で通われたら迂闊に後をつけられないじゃない。

AM6:40

上に着ていたジャージを脱いでユニフォーム姿になった稔君、
つても凜凜しいわ。素敵ww

AM6:50

野球部全員で朝のミーティング開始。7時から本格的な練習なの
よね。皆さすが野球部だけあっていい体格してるわね。だけど駄目、
やっぱり稔君が一番素敵だわ。

AM7:00

練習開始。ウォームアップとランニング。他はバッティングの練
習やパス、ノックの練習ね。稔君はキャッチャーだから自分のピッ
チャーと練習してるわ。ピッチャーの彼は学校でもかなりのモテ男
だけど私はやっぱり稔君が・・・(長々と続くので省略)

非常に残念なんだけど私と稔君はクラスが別なのよ。だから朝と
昼と放課後しか彼に会えないの。神様を恨むわ。でもクラス決めを
するのは教師だからここは先生立ちを恨むべきかも・・・。

AM12:48

稔君はいつも屋上でご飯を食べるのよ。理由は空が近くて気持ち
いいからですってw可愛い理由ねww稔君は高いところが好きらし
いのよ。だからなのかもしれないわね。私はあまり高いところは得
意ではないわ。・・・むしろ苦手と言ってもいいわね。

今日は稔君手作り弁当なんだ。えらいえらいwwいいお嫁さんにな
れるわ。私待つてるからね。稔君が料理上手なお嫁さんになって
くれる日を、卒業式にはプロポーズするからwwきつと彼は待つて
るわ。私のプロポーズを。

AM9:52

学校も終わり、部活動も終えてどろどろになった稔君。疲れてて
もうこれ以上は無理って顔はしてるけど楽しそう。これを毎日繰り返す
のよね。凄いわ。

AM10:17

やっと商店街を抜けたわ。帰りは朝よりも歩くのが遅いのよ、知ってた？疲れてるもの。あたりまえじゃない。

AM10:43

帰宅。今日も無事稔君を守りぬいたわ。写真もいっぱい撮れたしねwどう？これが私の毎日の日課よ。毎朝稔君を学校まで後ろから見守りながら一緒に登校して、野球部での活躍を記録して、学校での行動や情報を調べて、帰宅時には変な人が稔君を襲わないように見張りながら一緒に帰宅するのよ。

私も一人暮らしなのよ。実家のほうが学校から近いんだけど稔君の側にできるだけいてあげたいの。彼を守ってあげたいのよ。

じゃあどこに住んでるのかって？

私の部屋は彼の隣よ。ちゃんと音も録音できるようにね。

だって・・・彼のこと愛してるんだもの

(後書き)

初投稿です。文章作成の練習のためにこのサイトで文章能力を身につけていきたいと思ってます。まだまだかけだしなので小説は未熟ですが楽しんでいただければ嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8401t/>

365日ストーリー日記

2011年6月5日13時39分発行